

令和元年度第1回柏市地域包括支援センター運営協議会 会議録

1 開催日時

令和元年7月18日 木曜日

午後1時30分～3時30分

2 開催場所

ウェルネス柏4階 研修室

3 出席者

(1) 委員

濱田委員(会長), 織田委員(副会長), 植野委員, 奥野委員, 鎌田委員, 高野委員, 高橋委員, 中村委員, 羽鳥委員, 村上委員

(2) 市

宮島保健福祉部長, 石毛福祉政策課長, 田口社会福祉課長, 梅澤地域医療推進課長, 宮本高齢者支援課長, 矢部生活支援課長, 諏訪部消費生活センター所長, 阿知波障害支援課長代理, 橋本法人指導課長代理

(3) 事務局

地域包括支援課

吉田課長, 竹本専門監, 村山統括リーダー, 横山副主幹, 出牛副主幹, 高木副主幹, 秋谷副主幹, 岡田主任, 布施主任, 八百板主事, 相澤主事, 堀毛主事補

(4) 地域包括支援センター

柏北部地域包括支援センター長(山本 敏子)

北柏地域包括支援センター長(齋川 英文)

北柏第2地域包括支援センター長(菅野 達郎)

柏西口地域包括支援センター長(笠原 大幸)

柏西口第2地域包括支援センター長(小野田 光芳)

柏東口地域包括支援センター長(村本 浩子)

柏東口第2地域包括支援センター長(神谷 昌宏)

光ヶ丘地域包括支援センター長(宮原 和正)

柏南部地域包括支援センター長(神津 南)

柏南部第2地域包括支援センター長（橋本 佳子）

沼南地域包括支援センター長（日笠 千晴）

4 議題

- (1) 平成30年度地域包括支援センターの事業実績について
- (2) 平成30年度地域包括支援センターの事業評価について
- (3) 令和元年度地域包括支援センターの事業計画について
- (4) 地域包括支援センターの増設について
- (5) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

5 議事

- (1) 平成30年度地域包括支援センターの事業実績について

【事務局より説明】別添資料1のとおり

<質疑応答>

【奥野委員】

昨年と比べると終活をテーマとした講座が増えている。これからは高齢者も賢くということで、このような講座は良いと思うが、実際に包括への相談で終活に関するものは増えているのか。あるいは、今後そのような相談が増えると考えているのか。

【事務局】

終活に関心がある方が多いようで、終活をテーマにすると参加者が増える傾向にあるため、包括も終活をテーマとして設定している。

権利擁護の相談の中で内容ごとの集計はしていないためはっきりとは言えないが、増えてきていると思う。

社会福祉協議会や各専門職団体と連携を図りながら進めていきたい。

【鎌田委員】

虐待の通報件数が77件、対応件数が25件となっているが、残りの52件はどうなっているのか。

また、今後こういったわかりにくい表現は控えてほしい。

【事務局】

指摘の通り77件中25件しか対応していないように見える。

次回からはわかりやすい表現にしたい。

77件の通報のうち、確実に虐待であると認めたいうえで対応したものが25件ということ。残りもリスクの高いケースとして、医療機関につなげる、介護事業所と連携して見守りを続ける、場合によっては施設の入所など、状況に応じて調整を図っている。

【鎌田委員】

データでは消費者被害の件数が29年度20件、30年度は25件となっているが、本当にこの程度なのか。もっと多いような印象がある。

【事務局】

包括に直接相談があった中で、消費者被害に関する相談の件数であって、実際の被害件数ではない。

【高橋委員】

虐待には色々なケースがあり、どこまで保護していくかは行政としても難しいところだと思うが、包括を含め、どのように対応していくのか明確な方針のようなものはあるのか。

【事務局】

発見から対応までの具体的な支援については、怪しいケースというのは資料の数字以上に各包括が把握していて、生活支援サービスの利用を促すなどたくさんの目を入れ、何か異変があったら関係機関を通して包括に連絡が入るようにしている。市も共有している。

また、民生委員や地域の方からの相談や、介護サービス等を受けていない若い世代の方であれば、警察からの情報提供などもある。虐待発生を予防するために本人や家族と話したり、場合によっては保護をするという取り組みも行っている。

【高野委員】

虐待と判断する基準は決まっているのか。各包括で同じような対応ができているのか。

【事務局】

判定はケースバイケースの部分があるが、報告の際は、共通のアセスメントシートを使用している。

また、職員が聞き取りを行い、緊急性が高ければ保護をしたり、もう少し余裕のある状況であればご家族と話をしたうえで様子を見させてもらう等の対応をしている。

【濱田会長】

相談件数が増えており、これは包括の認知度が上がっている証拠だと思う。これまで積み上げた信用をさらに高めてもらいたい。

虐待に関しての質問が多かったが、これはデリケートな問題なので取り扱いに注意してほしい。

大変なこともあると思うがよろしくお願いしたい。

(2) 平成30年度地域包括支援センターの事業評価について

【事務局より説明】 別添資料2のとおり

<質疑応答>

【鎌田委員】

評価に関して、何年もやってきて、なぜ今更個人情報に関する項目に△がつくのか。何ができていなかったのか聞きたい。

アンケートに関して、「地域包括支援センターとの関わりがあるか」の項目で、民生委員の520名中48名が「ない」と回答している。なぜないと思っているのか。自分は包括が無ければ民生委員の活動は立ち行かないと考えている。もし何か理由等分かれば聞きたい。

【事務局】

個人情報の評価に関しては、センターごとに厳しく自己評価をしている。例えば「関係法令等は全職員が理解している」という設問に関しては、おおむね理解はしているが、法令を隅から隅まで暗記はしていないから、という理由で△を付けるなどしている。設問の設定が曖昧だったことや、ヒアリングで全てのセンターでおおむね理解できているだろうと判断できたことから、行政評価では○をつけさせてもらった。

個人情報の管理簿に関しては、管理簿への記載の確認が徹底されていないところが見られたため、徹底するように指示をした。実際の管理は適切に行っていても、訪問等の際にいつ持ち出していつ戻したのか記載するなど、細かい管理が不十分であったとこ

ろが見受けられたため、すぐに整理してもらおうよう伝えた。御指摘いただいた通り基本的な業務の内容なので、引き続き包括の方と一緒にしっかりと意識していきたい。

アンケートに関しては、民生委員のなかには主任児童委員として活動されている方もおり、各地区の主任児童委員にもアンケートを行っている。主任児童委員はおもに子供と関わるため、包括との関わりがないとアンケートに回答している。

【中村委員】

センターの自己評価と行政の評価が異なっているものがあるが、お互いに評価の基準が違ったことでそうなっているのか。例えば、センターが厳しく評価していて、市はその程度だったら良しとしているため異なった評価になったりしているのか。

【事務局】

自己評価には主観的な部分もあり、厳しく自己評価をする包括もあった。

また、市の方でも委託の仕様書を基に検討し、自己評価と違う評価を付けている部分もある。

設問の設定が曖昧な部分もあるので、評価の仕方については内部でもう少し検討していきたい。

【高野委員】

アンケート結果を見ると、歯科医師会の回収率が10%になっている。包括と関わりがある先生が少ないためと思われる。関わりが無くてもアンケートは返した方がいいということは歯科医師会の方で伝えたい。

歯科医師と包括は密接な関係とは言えないところがあるので、今後包括と歯科医師の連携が取れるといいと思う。

【事務局】

介護予防などで関わってもらえたら心強い。

また、今まで来ていた患者さんで気になる人がいれば気軽につないでもらえるように、こちらからも周知などさせてもらいたい。

【植野委員】

他市の包括はきちんとアセスメントしないでケアマネに丸投げ

してくることが多いが、柏の包括はケアマネに協力的である。柏市での評価だけでなく、他市と比較ができたらいと思う。

【濱田会長】

包括の事業評価に関しては、設問に対する認識が違うという話があったが、それに気付けたことも一つの収穫だと思う。

口腔ケアは、介護予防の中で非常に重要なケアだと言われている。歯科医師会の協力をぜひお願いしたい。

(3) 令和元年度地域包括支援センターの事業計画について

【事務局より説明】 別添資料3のとおり

< 質疑応答 >

【奥野委員】

ひとり暮らしで認知症の方を担当したことがあるが、その際、本人がよく行くコンビニの店員が見守りをしてくれたことがあった。包括で実際にコンビニの店員のような地域の方が見守りをしてくれた事例があれば教えてもらいたい。また、逆に包括の方からそのような働きかけをしているなら聞かせてもらいたい。

【柏北部地域包括支援センター長】

コンビニには様々な方が出入りするということで、よく目配りしてくれており、情報提供もしてくれている。

包括からもコンビニの店員を対象に認知症サポーター養成講座を行うなど、連携を図っている。

【北柏地域包括支援センター長】

過去にコンビニ3店舗に対して認知症サポーター養成講座を行い、会計時に気になった方を包括につなぐなどしてもらっている。また、コンビニからの提案で、気になった方の家族に連絡を取り、コンビニの支払いの専用のカードを預かるという対応をしてもらったこともある。

【濱田会長】

コンビニで認知症の方が売り物のパンなどを食べてしまった話を聞いたことがある。しかし、そのお店の店員は以前介護をしていたということもあり、責めることをせず見守りや声かけをしてくれたらしい。つまり、認知症について知ってもらうことが大事

だということが言いたい。この人は認知症なんだなと気づいてもらって、どんな対応すればいいか、どこに連絡すればいいかを知っておいてもらうことが大切。小売店を活用するというのは非常に有効な手段だと思う。

【植野委員】

柏南部第2包括の重点活動に、経験の少ないケアマネを地域の主任ケアマネが支援するとあるが、新人のケアマネの支援は千葉県の同行型研修くらいしかなかったもので、各地域でこのような取り組みをしてくれるのは助かる。柏南部第2包括の取り組みの成果も是非聞かせてもらいたい。

【柏南部第2地域包括支援センター長】

この取り組みは南部エリアとして、光ヶ丘包括、柏南部包括と合同で行うことになっている。合同にすることで、より多くの新人ケアマネを集めての勉強会ができる。昨年度の3月に1度開催しており、今年度は定期的開催する予定。成果としては、今年度の開催後検討していく。

【濱田会長】

各包括より良いと思う取り組みを取り入れていてもらいたい。
(4) 地域包括支援センターの増設について
内容非公開のため地域包括支援センター職員及び傍聴者退席

【内容非公開】

事務局からの説明の後、質疑応答を行った。
地域包括支援センターの増設に係るセンター業務の委託及び法人の選定について、当協議会で承認された。
(5) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

【事務局より説明】別添資料5のとおり

6 傍聴

(1) 傍聴者

3人

(2) 傍聴状況

傍聴要領に反する行為は見受けられなかった。

7 次回開催日時（予定）

令和元年10月30日（水）午後1時30分～午後3時30分